

1 表 1 薬物中毒患者 (N=577) の特徴

2

年齢、歳	
平均値	38.4 ± 17.5
中央値 [最年少 – 最高齢]	34.0 [14 - 95]
年齢層, % (N)	
0-9	0 (0)
10-19	7.6 (44)
20-29	30.7 (177)
30-39	25.1 (145)
40-49	14.4 (83)
50-59	9.0 (52)
60-	13.2 (76)
女性の割合, % (N)	75.0 (433)
併用薬の種類*1 (N=546)	
平均値	2.8 ± 2.2
中央値 [最小 – 最大]	2.0 [1 - 21]
2 種類以上 OD していた患者の割合, % (N)	63.6 (347)
OD の個数,錠あるいは包*2 (N=464)	
平均値	58.5 ± 60.1
中央値 [最小 – 最大]	40.0 [1 - 640]
OD 繰り返し歴あり, % (N)	16.8 (97)
自殺企図あり, % (N)	19.4 (112)
OD と同時に飲酒, % (N)	14.6 (84)
精神疾患の既往あり, % (N)	63.3 (365)

3 数字は、平均値±標準偏差、あるいは% (人数) で示した。

4 *1：成分別あるいは商品別に種類を数えた。

5 *2：錠数並びに包数を数えた。液剤は除外した。

6

Hashimoto T., et al. *Cureus*. 2022. **14**(12): e32475 の Table 1 を改変引用